

ルーブリック（法学分野、1～2年次）

	レベル1（可）	レベル2（良）	レベル3（優・秀）
知識	<ul style="list-style-type: none"> ・不定期でも新聞を読んでいて、大きな話題について概略を知っている。 (平成27年度で言えば、改憲、安保、夫婦別姓、など) ・裁判の手続きがわかる。 ・憲法の重要条文および基礎概念がわかる。 (国民主権、基本的人権、地方自治、など) ・現実社会の訴訟について新聞等を通じて概略を知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法について体系的理解がある。 (法源、法の正当性、自然法、道徳と正義の関係、法の解釈、法の下での平等、主権、人権、統治、など)。 ・民法の主要な概念・条文を理解している。 (権利主体、意思表示、所有権、契約自由の原則、など)。 ・新聞等を購読し、法律問題を受け止め自らの倫理観を養っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞等で話題になっている法律問題について、論理的に自分の意見を言うことができる。 ・外国の法制度にも関心をもち、比較法的視点から、学ぶことができる
技能	<ul style="list-style-type: none"> ・現実の法律問題を分析する読解力スキルの必要性を理解し、語彙・読解力検定など検定試験を目標にして取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現実の法律問題を分析し、理論的に説明できる。 ・語彙・読解力検定（準2級以上）に相当する読解力がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法律の知識を、生活の諸局面での判断にも活用できる。 (具体的には、消費者として、また、アルバイトの労働者として、など) ・語彙・読解力検定（2級以上）に相当する読解力がある。
態度	<ul style="list-style-type: none"> ・法律を尊重する姿勢がある。 ・協力しあうこと、紛争を解決することの大切さを理解している。 ・交渉力を身につける意欲がある。 ・授業の事前学習を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞等を用いて、現実の法律問題に関する異なる主張を比較する姿勢がある。 ・授業で積極的に発言をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞等を用いて、現実の法律問題に関する異なる主張を比較し、論理的に分析・評価することができる。

ルーブリック（経済学分野）

	レベル1（可）	レベル2（良）	レベル3（優・秀）
知識	<ul style="list-style-type: none"> 不定期でも新聞を読んでいて、大きな話題について概略を知っている。 (平成27年度で言えば、TPP、マイナス金利、原油安、など) 経済学の基本用語を説明できる。 (GDP、雇用、物価、金利、需要、供給、効用、余剰、不完全競争、など) 	<ul style="list-style-type: none"> 現実にとられている経済政策の意味が理解できる。 (金融緩和、財政出動、政府による規制、など) 	<ul style="list-style-type: none"> 現実の経済政策について、経済学の理論モデル(例:「金利が下がると投資が増える」「物価が上がると失業率が下がる」「必需品はぜいたく品に比べて、価格が上昇しても需要が減りづらい」)に基づいて自分の意見を述べられる。
技能	<ul style="list-style-type: none"> 数学(代数、方程式、関数)の知識がある。 抽象的な思考力を養う必要性を理解し、SPI(非言語)などの検定試験を目標にして取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 経済学で用いる数式やグラフの意味を読み取ることができる。(微分が変化率(通減・通増)を示すこと、一般的な無差別曲線が原点に凸になること、減少関数になること、など) 公務員試験(市役所・教養試験)の問題を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 経済の知識を、生活の諸局面での判断にも活用できる。(具体的には、消費者として、また、アルバイトの労働者として、など) 新聞等で用いられている経済統計資料をインターネット等から入手し分析することができる。 公務員試験(専門試験・経済学分野)の試験問題を解くことができる。
態度	<ul style="list-style-type: none"> 経済活動が豊かな生活と安定した社会をもたらしているという理解がある。 リーダーとして未来を予測する力を身につける意欲がある。 授業の事前学習を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 新聞等を用いて、現実の経済事象に関する異なる主張を比較する姿勢がある。 授業で積極的に発言をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 新聞等を用いて、現実の経済問題に関する異なる主張を比較し、論理的に分析・評価することができる。

ルーブリック（会計学分野）

	レベル1（可）	レベル2（良）	レベル3（優・秀）
知識	<ul style="list-style-type: none"> ・不定期でも新聞を読んでいて、大きな話題について概略を知っている。 ・会計学の基本用語を説明できる。 (貸借対照表、損益計算書、資産、負債、資本、収益、費用、発生主義、実現主義、ステークホルダー、など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・財務諸表の個別の数値の意味が分かり、それを導く計算を説明できる。 (営業収益、売上原価、当期純利益、減価償却、など) ・新聞等を購読し、会計に係る不正事件を受け止め自らの倫理観を養っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・財務諸表を基に企業の成果・状態を判断できる。 (収益性分析指標、安全性分析指標、など) ・社会制度としての会計・監査の意義を説明できる。
技能	<ul style="list-style-type: none"> ・四則演算・分数小数・割合といった計算に習熟し、高い精度でおこなえる。 ・簿記のスキルの必要性を理解し、日商簿記検定など検定試験を目標にして取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日商簿記3級レベルのスキルがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日商簿記2級レベルのスキルがある。(個別原価計算ができる) ・英語で書かれた財務諸表を読みとることができる。
態度	<ul style="list-style-type: none"> ・会計が経済社会の運営に、重要な役割を果たしていることを理解している。 ・企業の業績、経営者や管理職の成果は、会計で測られることを理解している。 ・授業の事前学習を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞等を用いて、企業の収益や決算、費用構造に関心を持っている。 ・授業で積極的に発言をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞等を用いて、企業の収益や決算、費用構造に関心を持ち、論理的に分析・評価することができる。

ルーブリック（マーケティング分野）

	レベル1（可）	レベル2（良）	レベル3（優・秀）
知識	<ul style="list-style-type: none"> マーケティングの基本用語を説明できる。 (セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニング、マーケティングミックス(4P)、など) 	<ul style="list-style-type: none"> マーケティングについての体系的知識がある。 (顧客志向、ブランディング、キャズム理論、流通システム(チャネル、3PL、SPA、SCM…)、AIDMA理論、IMC、など) アンケート調査に必要な、統計分析の知識がある。 (平均、標準偏差、分布、無作為抽出、など) 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な事例からマーケティング戦略フレームワーク視点で課題を抽出し、自分の考えを述べることができる。 マーケティングマーケティング・リサーチを企画・実施し、マーケティング戦略を提案することができる。
技能	<ul style="list-style-type: none"> PC(Windows、Excel、PowerPoint等)の操作ができる。 PCのスキルの必要性を理解し、MOSなど検定試験を目標にして取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> PC(Excel等)を操作してアンケート調査の一連の作業(相関分析、回帰分析)ができる。 MOS(Excel)一般レベル合格相当のスキルがある。 	<ul style="list-style-type: none"> PowerPointなどのソフトを活用し、プレゼンテーションを効果的に行うことができる。
態度	<ul style="list-style-type: none"> 顧客にとってよりよい製品をつくり、新しい価値を創造することの意識を理解している。 企業が求めるコミュニケーション能力を身につける意欲がある。 授業の事前学習を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 新聞や文献等を教材として、流通・広告・新商品などについて関心を持っている。 授業で積極的に発言をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 新聞や文献等を教材として、流通・広告・新商品などに関心を持ち、論理的に分析・評価することができる。

ループリック（経営学分野）

	レベル1（可）	レベル2（良）	レベル3（優・秀）
知識	<ul style="list-style-type: none"> 経営戦略の基本的用語を説明できる。 （経営資源、タスク環境、PPM、全社戦略、事業戦略、コストリーダーシップ戦略、差別化戦略、集中戦略、規模の経済、範囲の経済、など） 経営組織の基本的な用語を説明できる。 （科学的管理法、官僚制、職能制組織、事業部制組織、欲求階層説、動機づけ - 衛生モデル、リーダーシップ、株式会社・直接金融・間接金融、など） 	<ul style="list-style-type: none"> 経営戦略についての特定の分析枠組みについて説明できる。 （例えば、ポーターの競争戦略、PPM、SWOT分析、製品ライフサイクル、など） 経営組織に関する諸理論について、体系的な理解がある （例えば、官僚制理論、官僚制の逆機能、コンティンジェンシー理論、取引費用論、資源依存理論、新制度派組織論、など） 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な企業について、経営戦略の観点から多角的に分析し、自分の考えを述べることができる。
技能	<ul style="list-style-type: none"> 新聞やニュースを読む必要性を理解し、ニュース時事能力検定など検定試験を目標にして取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ニュース時事能力検定準2級相当のスキルがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ニュース時事能力検定2級相当のスキルがある。
態度	<ul style="list-style-type: none"> 組織において、経営者のリーダーシップ、従業員のモチベーションが重要であることへの理解 企業の成功事例や失敗事例への関心を持ち、「なぜ」「どのようにして」を問う姿勢がある。 授業の事前学習を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 新聞や文献等を教材として、企業の経営戦略、経営組織について関心を持っている。 授業で積極的に発言をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 新聞や文献等を教材として、企業の経営戦略、経営組織について関心を持ち、自分の考えを述べるができる。

専門基礎教育ルーブリック まとめ

	法学	経済学	会計学	マーケティング	経営学
知識 (基本用語の例)	<ul style="list-style-type: none"> ・法学（法源、法の正当性、自然法、道徳と正義の関係、法の解釈、法の下での平等、主権、人権、統治、・・・） ・憲法（国民主権、基本的人権、地方自治、・・・） ・民法（権利主体、意思表示、所有権、契約自由の原則、・・・） 	<ul style="list-style-type: none"> ・マクロ経済学、ミクロ経済学（GDP、雇用、物価、金利、需要、供給、効用、余剰、不完全競争、・・・） ・経済政策（金融緩和、財政出動、政府による規制、・・・） ・数学（関数、代数、微分、・・・） 	<ul style="list-style-type: none"> ・簿記・財務諸表（貸借対照表、損益計算書、資産、負債、資本、収益、費用、減価償却費、発生主義、仕訳帳、総勘定元帳、残高試算表、決算整理仕訳、利益剰余金、・・・） ・企業分析（収益性分析指標、安全性分析指標、・・・） 	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング（顧客志向、ブランディング、キャズム理論、流通システム（チャネル、3PL、SPA、SCM・・・）、AIDMA理論、IMC・・・、・・・） ・マーケティング・リサーチ（平均、標準偏差、分布、無作為抽出、・・・） 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略（経営資源、タスク環境、PPM、全社戦略、事業戦略、コストリーダーシップ戦略、差別化戦略、集中戦略、規模の経済、範囲の経済、・・・） ・経営組織（科学的管理法、官僚制、職能制組織、事業部制組織、欲求階層説、動機づけ-衛生モデル、リーダーシップ、株式会社・直接金融・間接金融・・・）
技能 (基礎学力、検定試験)	<p>読解力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語彙・読解力検定準2級 ・語彙・読解力検定2級 	<p>数学・非言語能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SPI（非言語） ・公務員試験(市役所・教養試験) ・公務員試験(専門試験・経済学) 	<p>計算能力、簿記検定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日商簿記3級 ・日商簿記2級 	<p>PC操作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MOS(Excel)一般レベル 	<p>思考力、特に事例から学ぶ力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュース時事能力検定準2級 ・ニュース時事能力検定2級
態度 (学ぶ意義の理解)	<ul style="list-style-type: none"> ・法律の尊重 ・協力しあうこと、紛争を解決することの大切さ ・交渉力を身につける意欲 	<ul style="list-style-type: none"> ・経済活動が豊かな生活と安定した社会をもたらしているという理解 ・リーダーとして未来を予測する力を身につける意欲 	<ul style="list-style-type: none"> ・経済社会の秩序を保つための社会的制度として、正しい情報の提供が重要であるという理解 ・企業の業績、経営者や管理職の成果は、会計で測られることへの理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客にとってよりよい製品をつくり、新しい価値を創造することの意義の理解 ・企業が求めるコミュニケーション能力を身につける意欲 	<ul style="list-style-type: none"> ・組織において、経営者のリーダーシップ、従業員のモチベーションが重要であることへの理解 ・企業の成功事例や失敗事例への関心を持ち、「なぜ・どのように」を問う姿勢がある。 ・授業の事前学習を行っている。